

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社テレビ朝日	上場取引所 東
コード番号 9409	URL http://www.tv-asahi.co.jp/
代表者 役職名 代表取締役社長	氏名 早河 洋
問合せ先責任者 役職名 経理局長	氏名 森岡 信夫 TEL 03(6406)1111
四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日	配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有	
四半期決算説明会開催の有無 : 有	

(百万円未満切捨)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	58,411	1.0	2,367	△2.0	3,294	4.5	1,408	7.6
22年3月期第1四半期	57,856	△10.0	2,415	△39.4	3,153	△34.7	1,309	△57.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	1,402.49	—
22年3月期第1四半期	1,303.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	299,615	238,556	77.9	232,375.00
22年3月期	303,261	239,895	77.4	233,753.83

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 233,401百万円 22年3月期 234,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		1,000.00	—	1,000.00	2,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,500	0.9	2,200	23.0	3,000	2.2	1,100	0.4	1,095.16
通期	232,500	1.0	7,500	3.9	9,000	2.9	4,600	52.1	4,579.77

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	1,006,000株	22年3月期	1,006,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,582株	22年3月期	1,582株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	1,004,418株	22年3月期1Q	1,004,418株
----------	------------	----------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
平成23年3月期 第1四半期決算短信補足資料	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、輸出が拡大し個人消費にも持ち直しがみられるなど、回復の兆しを見せています。一方で、欧州を中心とした海外経済の先行きに対する不透明感が強まっており、失業率も高水準にあるなど、厳しい状況が依然として続いております。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を上回るなど、緩やかに回復しております。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努め、当第1四半期連結累計期間の売上高は584億1千1百万円（前年同期比+1.0%）となったものの、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が560億4千3百万円（同+1.1%）となりました結果、営業利益は23億6千7百万円（同△2.0%）となりました。

また、経常利益は32億9千4百万円（同+4.5%）、四半期純利益は14億8百万円（同+7.6%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、スポンサーの固定費削減傾向は未だ続いているものの、4月改編セールスでは23時台セールスの強化と一社提供番組の積極的な導入により、レギュラー番組のセールスは前年同期をわずかながら上回りました。単発番組では、「2010FIFAワールドカップ™」をはじめ、「キリンチャレンジカップ2010日本代表壮行試合 日本×韓国」、ドラマスペシャル「TRICK 新作スペシャル」などのセールスを積極的に行った結果大幅な増収を達成し、タイム収入合計は212億9千3百万円となりました。

スポット収入は、企業業績回復にともない前年下半期からの好調が継続しました。業種では、「出版」「家庭用品」「薬品」「電気機器」などが伸び悩みましたが、「衣料・身の回り」「精密・事務機器」「金融・保険」「サービス・娯楽」などが前年同期を上回る伸びとなりました。その結果、スポット収入は224億3千2百万円となりました。

また、番組販売収入は30億1千5百万円、その他収入は46億3千万円となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は513億7千1百万円、営業費用が498億8千7百万円となりました結果、営業利益は14億8千3百万円となりました。

②音楽出版事業

音楽著作権の管理事業が好調に推移したものの、前年同期にあった“湘南乃風”のアリーナツアーの反動減などにより、音楽出版事業の売上高は17億2千9百万円となりました。また、営業費用は14億4千7百万円となりました結果、営業利益は2億8千1百万円となりました。

③その他事業

携帯電話向け会員制有料情報サービスの「EZ ニュース EX」が堅調なインターネット事業が好調に推移したことなどにより、その他事業の売上高は73億6千9百万円となりました。また、営業費用は67億5千7百万円となりました結果、営業利益は6億1千2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比36億4千5百万円減の2,996億1千5百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が11億9千6百万円増加したものの、投資

有価証券が時価の下落などにより 51 億 6 千万円減少したことなどによります。

負債合計は、支払手形及び買掛金が 10 億 7 千万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比 23 億 6 百万円減の 610 億 5 千 8 百万円となりました。また、純資産合計はその他有価証券評価差額金が 17 億 9 千万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比 13 億 3 千 9 百万円減の 2,385 億 5 千 6 百万円となりました。この結果、自己資本比率は 77.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上高に大きな影響をおよぼすテレビ広告市場は、緩やかな回復基調はあるものの、引き続き厳しい状況が続くものと想定されます。当社グループは、テレビ広告収入拡大に向けた取り組みを行うほか、音楽出版事業、その他事業についても売上拡大に継続的に注力を行うため、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成22年4月28日に公表いたしました数値を変更しておりません。また、第2四半期累計期間および通期の個別業績予想につきましても、同日公表の数値を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1. たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の商品等のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、商品等の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が437百万円減少しております。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,484	9,720
受取手形及び売掛金	61,508	60,311
有価証券	52,100	51,103
たな卸資産	10,002	10,915
その他	7,597	6,580
貸倒引当金	△130	△133
流動資産合計	141,561	138,497
固定資産		
有形固定資産	64,419	66,136
無形固定資産		
その他	6,648	6,754
無形固定資産合計	6,648	6,754
投資その他の資産		
投資有価証券	71,139	76,300
その他	16,181	15,907
貸倒引当金	△335	△334
投資その他の資産合計	86,985	91,872
固定資産合計	158,053	164,763
資産合計	299,615	303,261
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,250	13,320
未払法人税等	804	540
役員賞与引当金	22	82
その他	32,606	34,386
流動負債合計	45,683	48,330
固定負債		
退職給付引当金	13,301	13,196
役員退職慰労引当金	573	560
その他	1,499	1,277
固定負債合計	15,375	15,034
負債合計	61,058	63,365

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	143,138	142,736
自己株式	△321	△321
株主資本合計	234,803	234,400
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,273	516
為替換算調整勘定	△127	△130
評価・換算差額等合計	△1,401	385
少数株主持分	5,155	5,109
純資産合計	238,556	239,895
負債純資産合計	299,615	303,261

(2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	57,856	58,411
売上原価	42,473	42,443
売上総利益	15,382	15,968
販売費及び一般管理費	12,967	13,600
営業利益	2,415	2,367
営業外収益		
受取利息	54	47
受取配当金	415	455
持分法による投資利益	188	288
その他	160	173
営業外収益合計	818	964
営業外費用		
固定資産廃棄損	73	20
その他	6	17
営業外費用合計	80	37
経常利益	3,153	3,294
特別損失		
投資有価証券売却損	—	63
投資有価証券評価損	—	55
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	437
特別損失合計	—	555
税金等調整前四半期純利益	3,153	2,738
法人税等	1,451	1,256
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,482
少数株主利益	392	73
四半期純利益	1,309	1,408

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 6月30日）

（単位：百万円）

	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	49,107	1,878	6,870	57,856	—	57,856
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	786	35	1,171	1,994	(1,994)	—
計	49,894	1,913	8,042	59,850	(1,994)	57,856
営業利益	1,123	365	925	2,414	0	2,415

(注)1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業：テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権利収入

音楽出版事業：音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業：イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社内に事業別の管理部署を置き、各管理部署は、取り扱う事業についての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業別のセグメントから構成されており、「テレビ放送事業」「音楽出版事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「テレビ放送事業」は、当社が放送するテレビ番組の制作及び放送に係る事業であり、「音楽出版事業」は音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業であり、「その他事業」はテレビ番組を中心としたコンテンツから派生、テレビ放送と連携する事業であり、イベント事業、DVD販売、出資映画事業、ショッピング事業等を網羅的に展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,620	1,669	6,121	58,411	—	58,411
セグメント間の内部売上高 又は振替高	750	59	1,247	2,058	(2,058)	—
計	51,371	1,729	7,369	60,469	(2,058)	58,411
セグメント利益	1,483	281	612	2,376	(8)	2,367

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成23年3月期 第1四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	22年3月期第1四半期	23年3月期第1四半期	前年同期比	
			22年3月期第1四半期	23年3月期第1四半期
売上高	57,856	58,411	554	1.0%
タイム収入	20,307	21,293	985	4.9%
スポット収入	21,498	22,432	934	4.3%
番組販売収入	2,968	2,878	△ 90	△ 3.0%
その他収入	4,333	4,017	△ 316	△ 7.3%
音楽出版収入	1,878	1,669	△ 208	△ 11.1%
その他事業収入	6,870	6,121	△ 749	△ 10.9%
営業費用	55,441	56,043	602	1.1%
営業利益	2,415	2,367	△ 47	△ 2.0%
売上高営業利益率	4.2%	4.1%	△ 0.1%	
営業外収益	818	964	145	17.8%
(うち持分法による投資利益)	(188)	(288)	(99)	(53.0%)
営業外費用	80	37	△ 42	△ 53.4%
経常利益	3,153	3,294	140	4.5%
売上高経常利益率	5.5%	5.6%	0.1%	
特別損失	—	555	555	—
(うち投資有価証券売却損)	(—)	(63)	(63)	(—)
(うち投資有価証券評価損)	(—)	(55)	(55)	(—)
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	(—)	(437)	(437)	(—)
税金等調整前四半期純利益	3,153	2,738	△ 415	△ 13.2%
法人税等	1,451	1,256	△ 195	△ 13.5%
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,482	—	—
少数株主利益	392	73	△ 318	△ 81.3%
四半期純利益	1,309	1,408	99	7.6%

2. セグメント情報

(単位：百万円)

	22年3月期第1四半期	23年3月期第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
テレビ放送事業				
売上高	49,894	51,371	1,476	3.0%
タイム収入	20,448	21,293	844	4.1%
スポット収入	21,520	22,432	912	4.2%
番組販売収入	3,109	3,015	△ 94	△ 3.0%
その他収入	4,816	4,630	△ 186	△ 3.9%
営業費用	48,770	49,887	1,117	2.3%
営業利益	1,123	1,483	359	32.0%
音楽出版事業				
売上高	1,913	1,729	△ 184	△ 9.6%
営業費用	1,548	1,447	△ 100	△ 6.5%
営業利益	365	281	△ 84	△ 23.1%
その他事業				
売上高	8,042	7,369	△ 673	△ 8.4%
営業費用	7,117	6,757	△ 360	△ 5.1%
営業利益	925	612	△ 313	△ 33.8%
消去又は全社				
売上高	△ 1,994	△ 2,058	△ 63	3.2%
営業費用	△ 1,994	△ 2,049	△ 54	2.7%
営業利益	0	△ 8	△ 9	—
合 計				
売上高	57,856	58,411	554	1.0%
営業費用	55,441	56,043	602	1.1%
営業利益	2,415	2,367	△ 47	△ 2.0%

※当第1四半期連結累計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますが、上記補足資料では参考情報として、前第1四半期連結累計期間の区分等に基づいて実績を表示しております。

「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	22年3月期第1四半期	23年3月期第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
ショッピング事業収入	2,310	2,046	△ 264	△ 11.5%
インターネット関連収入	706	816	110	15.6%
出資映画事業収入	843	781	△ 61	△ 7.3%
イベント事業収入	1,207	675	△ 531	△ 44.0%
CS事業収入	573	604	30	5.3%
DVD販売収入	300	401	100	33.4%
その他	2,100	2,044	△ 56	△ 2.7%
合 計	8,042	7,369	△ 673	△ 8.4%

3. 損益計算書(個別)

(単位:百万円)

	22年3月期第1四半期	23年3月期第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	51,858	52,747	889	1.7%
タイム収入	20,527	21,293	766	3.7%
スポット収入	21,520	22,432	912	4.2%
番組販売収入	3,111	3,015	△ 96	△ 3.1%
その他収入	429	457	28	6.5%
その他事業収入	6,269	5,549	△ 720	△ 11.5%
営業費用	50,380	51,085	705	1.4%
営業利益	1,477	1,662	184	12.5%
売上高営業利益率	2.8%	3.2%	0.4%	
営業外収益	1,413	1,304	△ 109	△ 7.7%
営業外費用	81	41	△ 40	△ 48.4%
経常利益	2,810	2,925	114	4.1%
売上高経常利益率	5.4%	5.5%	0.1%	
特別損失	—	526	526	—
(うち投資有価証券売却損)	(—)	(34)	(34)	(—)
(うち投資有価証券評価損)	(—)	(55)	(55)	(—)
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	(—)	(437)	(437)	(—)
税引前四半期純利益	2,810	2,398	△ 412	△ 14.7%
法人税等	864	919	55	6.4%
四半期純利益	1,946	1,479	△ 467	△ 24.0%